

教科	工業	科目	工業情報数理
履修条件 対象生徒	必修修 デザイン科 1学年		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ及び周辺機器の基礎的知識を学習するとともに、事務系ソフトやデザイン系の描画ソフトの基本操作を習得する。 ・社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解し、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身につける。 		
学習方法	<p>[授業] クラスを2班に分け、生徒20名、教員2名で、週1回2時間、図書室と工芸実習室において講義及び演習を行う。</p> <p>[家庭学習] 自由作品の構成を練ったり、素材を集めたりする。</p> <p>[補習・その他] 昼休みや放課後、学校のコンピュータを利用して、タイピング練習や作品制作、調べ学習等をしてよい。</p>		
学習計画 と ねらい	<p><1学期末考査まで></p> <p>第1章 コンピュータと情報化社会</p> <p>第2章 コンピュータの取り扱いとソフトウェア</p> <p>第3章 アプリケーションソフトの利用</p> <p>(1)ワード</p> <p>(2)エクセル</p> <p>(3)イラストレーター</p> <p><2学期末考査まで></p> <p>(4)フォトショップ</p> <p><学年末考査まで></p> <p>(5)動画</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ○情報の収集、選択、構成、発信の手法や留意点について理解し、情報社会に参画できるようにする。 ○ハードウェア、ソフトウェアについて用語を理解し活用できるようにする。 ○ファイル管理の手法について学び、実践できるようにする。 ○タイピング練習を通じて正確で速いタイプができるようにする。 ○フォントの変更、図の挿入、段組、表の作成ができるようにする。 ○表計算、グラフの作成、印刷ができるようにする。 ○基本的な操作方法を習得する。 ○ベジェ曲線を用いて記号の制作ができるようにする。 ○地図の制作を通じて正確な図を描けるようにする。 ○名刺の制作を通じて効果的な情報伝達ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な操作方法を習得する。 ○タッチ技術を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な機能を用いてコラージュ作品の制作をし、相互鑑賞する。 ○G I Fアニメーションの作成と鑑賞をする。
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ及び周辺機器の基礎的知識を身につけ、事務系ソフトやデザイン系の描画ソフトの基本操作を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報及び情報技術が果たしている役割や影響を考えつつ情報機器を使って自ら判断し表現する力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を養おうと努力している。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○評価の観点：「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的な評価を行う。 ○授業では、発表や話し合いなどの言語活動、レポート、演習への取組など生徒の主体的な活動を重視する。 ○制作では、制作意図、制作過程、自己分析、鑑賞などの取り組みを重視する。 ○学習態度においては、出席状況を評価に反映させる。 <p>以上をショップごとに総合的に判断して評価し、それを平均して科目（工業情報数理）の評価とする。</p>		

